

# アレルギー・リウマチ学 *Allergology & Rheumatology*

## 1. 教育目標

自己免疫・自己炎症性疾患の病因、病態を理解し、治療薬の開発について学ぶ。特に、アレルギー疾患の発症機序と治療法について詳細に理解する。シェーグレン症候群の唾液腺の病理を理解し、治療法を学ぶ。全身性硬化症の皮膚・消化器・肺・心病変の機能評価の解析ができる。関節リウマチの生物学的製剤の臨床疫学についての解析を学ぶ。脊椎関節炎の病態を理解し、新規バイオマーカーについて学ぶ。

## 2. 到達目標

- (1) アレルギー疾患の病因、病態、治療を修得する。
- (2) シェーグレン症候群の病因、病態、治療を理解する。
- (3) 全身性硬化症の皮膚硬化機序の解析ができる。
- (4) 関節リウマチの生物学的製剤の有効性、副作用に関する疫学調査の知見を得る。
- (5) 血管炎の病因、病態、治療を理解する。

## 3. 成績評価の方法と基準

成績の評価は、本学で定められた「成績の評価基準」に基づき、到達目標に対する達成度及び修得すべき基礎知識・技能の修得度により行う。

研究カンファレンスでの発表・データの確認(40%)、学会・研究会での発表(60%)

## 4. 教科書・参考書

特に定めていない。必要に応じて参考資料を配付する。

## 5. 準備学習

テーマ毎に文献検索を行い、知識を整理して授業・実習に臨むこと。(最低2時間)日々学習することにより、復習として0.5~1時間程度かけて講義内容・実習内容をまとめておくこと。

## 6. フィードバック方法

当該年度修了時に提出する「研究計画書」、又は「研究進捗・指導状況報告書」によりフィードバックを実施する。

## (第1学年・昼間開講)

## 【アレルギー・リウマチ学】

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
演習	研究経過報告と関連論文の抄読	東准教授、古川助教	月曜/3限	通年	4	ミーティングルーム
講義	関節リウマチ研究 update	橋本講師、安部助教	火曜/1限	半年	2	ミーティングルーム
実験研究	コホート構築 (1) 培養細胞実験 (1)	東准教授、安部助教	木曜/3,4限	通年	4	実験室
実験研究	動物実験 (1) 横断研究、縦断研究	古川助教、安部助教	金曜/3,4限	通年	4	動物実験室 実験室

## (第1学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
演習	研究経過報告と関連論文の抄読	橋本講師、安部助教	月曜/6限	通年	4	ミーティングルーム
講義	関節リウマチ研究 update	東准教授、古川助教	火曜/6限	半年	2	ミーティングルーム
実験研究	コホート構築 (1) 培養細胞実験 (1)	橋本講師、安部助教	木曜/6,7限	通年	4	実験室
実験研究	動物実験 (1) 横断研究、縦断研究	東准教授、橋本講師	金曜/6,7限	通年	4	動物実験室 実験室

## (第2学年・昼間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
演習	研究経過報告と関連論文の抄読	東准教授、古川助教	月曜/3限	通年	4	ミーティングルーム
講義	関節リウマチ研究 update	橋本講師、安部助教	火曜/1限	半年	2	ミーティングルーム
実験研究	コホート構築 (2) 培養細胞実験 (2)	東准教授、安部助教	木曜/3,4限	通年	4	実験室
実験研究	動物実験 (2) 横断研究、縦断研究	古川助教、安部助教	金曜/3,4限	通年	4	動物実験室 実験室

## (第2学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
演習	研究経過報告と関連論文の抄読	橋本講師、安部助教	月曜/6限	通年	4	ミーティングルーム
講義	関節リウマチ研究 update	東准教授、古川助教	火曜/6限	半年	2	ミーティングルーム
実験研究	コホート構築 (2) 培養細胞実験 (2)	橋本講師、安部助教	木曜/6,7限	通年	4	実験室
実験研究	動物実験 (2) 横断研究、縦断研究	東准教授、橋本講師	金曜/6,7限	通年	4	動物実験室 実験室